

平成 年度 地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター
業務実績報告書（案）

平成 年 月

地方独立行政法人
東京都健康長寿医療センター

(例)

1 現況

- (1) 法人名
- (2) 所在地
- (3) 設立年月日
- (4) 設立目的
- (5) 沿革
- (6) 事業内容
- (7) 役員の状況
- (8) 職員の状況
- (9) 組織
- (10) 資本金の状況

2 東京都健康長寿医療センターの基本的な目標 等

- (1) 基本理念
- (2) 運営の基本方針
(第1期の取り組み目標、重点課題など)

3 法人運営

(例)

1 法人の総括と課題

2 項目ごとの特記事項など

- (1) 高齢者の特性に配慮した医療の提供
- (2) 高齢者医療・介護を支える研究の推進
- (3) 高齢者の医療と介護をさせる専門人材の育成及び確保
- (4) 効率的・効果的な業務運営
- (5) 収入の確保・費用の節減
- (6) 財務内容の改善
- (7) 新施設の整備に向けた取組み
- (8) その他(年度計画に記載されている事項以外で特記すべき自主的な取組みがある場合)

業務実績及び自己評価

<p>中期計画に係る該当事項</p>	<p>1 都民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置 (1)高齢者の特性に配慮した医療の確立と提供</p> <p>センターは、高齢者のための高度専門医療及び研究を行い、都における高齢者医療及び研究の拠点としての役割を果たすため、これまで培ってきた豊富な臨床経験やノウハウを活かして高齢者の特性に配慮した医療の確立を目指すとともに、その成果及び知見を高齢者医療のモデルとして広く社会に発信していくことを目的に設立された。その目的を実現し、センターの機能を十分に発揮するために、特に重点的に取り組む医療分野を定め、あわせて高齢者急性期医療の提供、地域連携の推進及び救急医療の充実に努めていく。</p>																					
<p>中期計画の進捗状況</p>	<p>< 三つの重点医療 ></p>																					
<p>ア 三つの重点医療の提供</p>	<p>ア 三つの重点医療の提供</p>																					
<p>中期計画</p> <p>我が国の高齢者医療における大きな課題である 血管病医療、高齢者がん医療、認知症医療をセンターの重点医療として位置付け、適切な医療を提供する。</p> <p>また、医療と研究の一体化のメリットを活かして高度・先端医療の研究及び臨床への応用を進め、新たな治療法の開発や後期高齢者に対する標準的治療法の確立を目指す。</p> <p>死亡及び要介護状態につながる大きな要因の一つである血管病(心血管疾患及び脳血管疾患)について、適切な治療を実施するとともに、血管病予防の視点から、生活習慣病治療の充実を図る。</p> <p>また、治療の実施に当たっては、研究部門で実施する高齢者の血管障害の特徴についての解析や、高齢期における血管障害予防のための生活習慣病改善手法の開発と連携し、治療を進める。</p> <p>【具体的な取組内容】</p> <table border="1" data-bbox="123 877 524 1173"> <tr> <td>心血管疾患治療</td> <td>急性心筋梗塞に対するインターベンション治療 不整脈に対する植え込み型除細動器(ICD) 心臓再同期療法(CRT) 大動脈瘤に対するステント治療 慢性閉塞性動脈硬化症等末梢動脈疾患に対する血管再生治療(先進医療該当)など</td> </tr> <tr> <td>脳血管疾患治療</td> <td>脳梗塞急性期に対する血栓溶解療法 コイル塞栓術等の脳血管内手術 脳卒中に対する早期リハビリ実施など</td> </tr> <tr> <td>生活習慣病治療</td> <td>糖尿病、脂質異常症、高血圧、メタボリックシンドローム、肥満等の治療 遺伝子情報を活用したオーダーメイド骨粗鬆症治療など</td> </tr> </table>	心血管疾患治療	急性心筋梗塞に対するインターベンション治療 不整脈に対する植え込み型除細動器(ICD) 心臓再同期療法(CRT) 大動脈瘤に対するステント治療 慢性閉塞性動脈硬化症等末梢動脈疾患に対する血管再生治療(先進医療該当)など	脳血管疾患治療	脳梗塞急性期に対する血栓溶解療法 コイル塞栓術等の脳血管内手術 脳卒中に対する早期リハビリ実施など	生活習慣病治療	糖尿病、脂質異常症、高血圧、メタボリックシンドローム、肥満等の治療 遺伝子情報を活用したオーダーメイド骨粗鬆症治療など	<p>年度計画</p> <p>センターの重点医療である 血管病医療、高齢者がん医療、認知症医療において適切な医療を提供する。</p> <p>また、医療と研究の一体化のメリットを活かして高度・先端医療の研究及び臨床への応用を進め、新たな治療法の開発や後期高齢者に対する標準的治療法の確立を目指す。</p> <p>血管病に対して、内科的治療、外科的手術から先端医療まで、複数の選択肢の中から個々の患者の症例に応じた適切な医療を提供するとともに、血管病予防の視点から、生活習慣病治療の充実を図る。</p> <p>また、治療の提供に当たっては、研究部門で実施する高齢者の血管障害の特徴についての解析や、高齢期における血管障害予防のための生活習慣病改善手法の開発と連携し、治療を進める。</p> <p>・心臓外科の開設により可能となった冠動脈・大動脈バイパス術、弁置換術等、外科的手術を積極的に進める。 ・急性心筋梗塞に対するインターベンション治療を推進する。 ・外科的手術の実施により、不整脈に対する植え込み型除細動器(ICD)、心臓再同期療法(CRT)、腹部大動脈瘤に対するステント治療の施設認定を目指す。 ・先端医療である末梢血単核球細胞移植療法の届出病院として、慢性閉塞性動脈硬化症等末梢動脈疾患の患者への血管再生治療を積極的に行う。</p> <table border="1" data-bbox="542 1053 949 1109"> <tr> <td></td> <td>平成19年度実績値</td> <td>21年度目標値</td> </tr> <tr> <td>血管再生治療実施件数</td> <td>2例/年</td> <td>6例/年</td> </tr> </table> <p>・脳動脈瘤に対するコイル塞栓術、症候性の内頸動脈狭窄症に対するステント留置術等、より低侵襲な血管内治療を推進する。</p> <p>・東京都脳卒中救急搬送体制、ヘリ-PA治療可能施設として参画することにより、急性期脳梗塞に対する血栓溶解療法に取り組む。</p> <p>・糖尿病・高脂血症患者を対象としたクリニカルパス入院(合併症・動脈硬化検査入院パス)により、メタボリックシンドロームや動脈硬化の危険因子の評価・対策を推進する。</p> <p>・遺伝子情報を活用したオーダーメイド骨粗鬆症治療を積極的に進める。</p> <table border="1" data-bbox="542 1356 949 1412"> <tr> <td></td> <td>平成19年度実績値</td> <td>21年度目標値</td> </tr> <tr> <td>オーダーメイド治療実施件数</td> <td>51例/年</td> <td>40例/年</td> </tr> </table>		平成19年度実績値	21年度目標値	血管再生治療実施件数	2例/年	6例/年		平成19年度実績値	21年度目標値	オーダーメイド治療実施件数	51例/年	40例/年	<p>自己評価</p> <p>1</p>	<p>年度計画に係る実績</p>	<p>特記事項</p>
心血管疾患治療	急性心筋梗塞に対するインターベンション治療 不整脈に対する植え込み型除細動器(ICD) 心臓再同期療法(CRT) 大動脈瘤に対するステント治療 慢性閉塞性動脈硬化症等末梢動脈疾患に対する血管再生治療(先進医療該当)など																					
脳血管疾患治療	脳梗塞急性期に対する血栓溶解療法 コイル塞栓術等の脳血管内手術 脳卒中に対する早期リハビリ実施など																					
生活習慣病治療	糖尿病、脂質異常症、高血圧、メタボリックシンドローム、肥満等の治療 遺伝子情報を活用したオーダーメイド骨粗鬆症治療など																					
	平成19年度実績値	21年度目標値																				
血管再生治療実施件数	2例/年	6例/年																				
	平成19年度実績値	21年度目標値																				
オーダーメイド治療実施件数	51例/年	40例/年																				